



第19回 2022

第19回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日　2022年12月3日
編　集　全国水環境マップ実行委員会事務局
発　行　全国水環境マップ実行委員会
発行所　全国水環境マップ実行委員会事務局

問合せ先　全国水環境マップ実行委員会
事務局　みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
TEL/FAX：042-327-3169
E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp
URL：https://www.japan-mizumap.org/

発行部数　5,000部

全国一斉調査のツイッター はじめました
https://twitter.com/3O8v6OKPPcJQWc9

本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

後援　国土交通省　環境省

印刷　エキノックス

身近な水環境の全国一斉調査

笑顔でつなぐゆたかな水辺

第19回 調査結果概要 2022

目　次

Ⅰ　調査の背景　P.1
Ⅱ　調査の実施手法　P.2
Ⅲ　調査結果の概要　P.3
全国一斉調査諸データの推移　P.4
2022　全国水環境マップ　第19回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.5
2004　全国水環境マップ　第１回 身近な水環境の全国一斉調査結果　P.6
Ⅳ　各ブロックでの調査結果　P.7
北海道地方　P. 7　近畿地方　P.12
東北地方　P. 8　中国地方　P.13
関東地方　P. 9　四国地方　P.14
北陸地方　P.10　九州・沖縄地方　P.15
中部地方　P.11
Ⅴ　一斉調査結果の活用事例紹介　P.16
Ⅵ　継続調査参加団体　P.18
Ⅶ　全国水環境マップ実行委員会名簿　P.20
Ⅷ　身近な水環境を調べよう！第20回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い　P.21
第20回 身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙　P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は（株）共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会

Ⅰ 調査の背景



市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は 1980 年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていませんでした。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。

多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと 10 年間のまとめが一冊の本になっています。】



調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になっています。身近な水環境の全国一斉調査 10 年の歩みがわかる「見る　知る　調べる水」（（有）全国環境研究会誌事務局　発行：2015 年）は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価 1,500 円 (税込) 送料別で販売中です。

「身近な水環境の全国一斉調査」は 2004 年 6 月に開始され、19 年間で延べ 127,551 人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ 105,016 地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待されます。

目的と意義　～自分たちで調べて、環境保全につなげよう～

1．身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2．統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3．身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおよそ 1 年後である）。
　また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4．河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5．同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6．身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7．水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8．汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9．調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10．子どもたちが調査に参加することにより、100 年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

Ⅱ 調査の実施手法

調査の概要

調　　査　　日：2022 年 6 月 5 日 (日) を中心に実施
調　　査　　者：『全国水環境マップ実行委員会』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストで COD を測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と 3 種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストで COD を測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●COD（化学的酸素要求量）

COD（Chemical Oxygen Demand の略称）は試水中にどのくらい酸化される物質、主として有機物があるかを示すもので、水中の有機物量の目安となります。河川水の一般的な COD の値は、きれいな水で 1 － 2mgO/L 程度ですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。今回の調査も同一のロット番号（製造番号）のパックテストを用いて、同一試料を 3 回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

調査の手法

●採水および COD の測定

詳しい採水方法、測定方法は下の二次元コードよりご覧いただけます。

ハンディマニュアル＿採水　　ハンディマニュアル＿測定

ブンセキを
もっと
身近にする

常に時代に最適な技術をもって
世界中の誰でも気軽に
水質分析ができる手段を提供し
「ブンセキ」という文化として浸透させる事で
理想的な社会創造に貢献します



発色させたパックテストを
iPhone® で撮影し
判定結果を数値化する
パックテスト専用アプリ

今すぐ
ダウンロード

SMART PACKTEST®

水質の簡易分析製品
パックテスト®



目的に合った項目
を組み合わせた
セット製品

株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab.,Corp.
https://kyoritsu-lab.co.jp
TEL：045-482-6937
神奈川県横浜市緑区白山 1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
パックテスト 検索

Ⅲ 調査結果の概要

調べてわかる、身近な水辺

市民と行政の連携で続ける全国一斉調査

2021年12月、本調査開始から参加者累計のべ10万人、調査地点数のべ10万地点(厳密には少し足りなかったのですが)を記念してシンポジウムを開催しました。コロナ禍でしたので感染対策には十分配慮して、関係者のみ会場参加やweb参加として、これまでの振り返りや本紙19ページにもありますように実行委員長も小倉紀雄先生から風間ふたば先生にバトンタッチして、今後の一斉調査について新たな展開へと進むことができました。

また、過去の国土交通省の関係者の参加も多くあり、これからも100年の眼をもって市民と行政の協働により本調査を広げ、国内の水辺を調べることで多くの市民の皆さんの水環境への関心を高めてもらい、保全活動へとつなげてより良い水辺を次世代に残していくための一つの貴重なデータとしていきたいと思います。

全国統一日

調　査　日　2022年6月5日（日）
参加団体数　339団体（個人参加含む）
調査地点数　2,035地点

調査総数（全国）

期　　間　2022年5月22日～7月1日まで
参加団体数　**660団体**
地点総数　**5,183地点**

調査総数（海外）　なし

記念シンポジウムの
YouTubeはこちらから

調査のまとめ

まだ新型コロナの感染状況が収束は見えていませんが、市民の皆さんの感染予防対策を行いながらの行動が定着してきたことを鑑みて従来の「全国一斉調査」に戻して今年は実施しました。結果、統一日には随分とコロナ以前の数字に近づくことができました。しかし、多くの参加団体からはまだまだ予断を許さないために「子どもの参加は控えた」や「大人のみで定点の水質調査を早く行った」などのコメントもあり、子どもたちへの感染配慮がまだまだありました。また、本調査の特色でもあります1地点の調査に3回測定を実施していますが、その3回測定を実施いただいている地点の割合が初めて90%を下回ってしまいました。次回、第20回目の全国一斉調査を迎えるにあたり、原点回帰として全国一斉調査の手法などを改めて周知していきたいと思います。もちろん時が経ってその時々の状況でいろいろと変更していかなくてはいけない部分もあるかと思いますが、全国一斉調査としての手法、本質はブレずに進めていきたいと思います。

【ご寄付のお願い】

本調査は現在、河川財団の河川基金の助成金のみで運営しています。
調査器材をメーカーの共立理化学研究所のご厚意で無償提供していただいているものの、年々値上げする郵送費やデータ集計のための人件費などの工面が大変になっています。
実行委員会でも様々な提案をして対応していますが未だ成果にはつながっていません。
本調査にご支援をいただける方は下記の振込口座にお願いいたします。

ご寄付いただく皆さまへ

郵便局備付けの用紙で振込みをしていただく場合、お手数ですが「寄付」又は「一斉調査寄付」とご記入ください。
なお、寄付金は、全国調査のデータ集計や郵送費等、本調査の運営に活用させていただきます。

郵便振替口座
口座名称　全国水環境マップ実行委員会
口座記号番号　00150-0-514970

ご寄付をいただいた方々（団体または個人のお名前）　2021年10月21日～2022年9月20日

アクサ生命保険株式会社

せいわエコクラブ　様、アークコーポレーション株式会社　様、さとしょうエコクラブ　様、滝瀬　道子　様、原田　武司　様、明治大学商学部　森永ゼミ　様、江幡 禎則　様、田中　徹　様、金子　博　様、加治川ネット21　様、坂井　京子　様、前田　智美　様、あわっ子！エコ！クラブ　様、エコパートナーくまもと　様、風間　真理　様、小林　秀　様、積水化成品東部　様、カモ・カモンの会　様、田中　尚志　様、阿部　政雄　様、浅川流域市民フォーラム　様、永海　大輔　様、西川　裕美　様、加藤　功　様、中瀬　勝義　様、せせらぎねばねっと　様、人と自然を守る会　様、熊田　千春　様、野洲川に親しむ会　様、エコシティ志木　様、たちかわ水辺の楽校　様、神崎川を守るしろい八幡溜の会　様、大津市河川愛護団体連合　様、村岡　麻衣子　様、神田川ネットワーク　様、モリ_ユウゾウ　様、諏訪　祥子　様

多くの皆さまからのご寄付、ありがとうございました。

全国一斉調査諸データの推移

●年別　参加団体及び調査地点数集計結果

作成：全国水環境マップ実行委員会

	都道府県名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
		団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1	北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131	24	131	25	131	36	435	28	486	26	214	20	389	22	221	26	109
2	青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16	6	19	5	17	5	19	7	69	7	60	5	74	6	31	5	15
3	岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23	4	12	2	6	3	13	6	48	3	53	6	70	7	43	6	26
4	宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27	6	25	6	29	6	30	8	65	5	73	6	72	4	28	5	21
5	秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6	2	7	2	5	5	30	6	42	5	34	4	29	3	20	2	6
6	山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54	2	52	2	52	2	52	4	114	5	55	4	83	5	117	4	110
7	福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42	7	78	8	48	10	69	10	176	9	105	8	114	7	152	9	78
8	茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295	43	305	40	286	37	285	36	321	35	269	30	225	34	237	36	290
9	栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11	5	10	6	11	7	13	8	49	9	43	5	33	5	33	4	11
10	群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121	9	76	9	81	10	114	9	123	9	158	9	150	9	113	8	142
11	埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468	63	486	64	399	63	441	65	461	68	522	56	407	64	419	66	465
12	千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133	18	111	16	221	19	186	17	209	15	137	15	269	15	117	18	94
13	東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651	106	681	100	608	106	634	89	627	88	568	77	508	75	556	74	599
14	神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378	39	374	37	385	39	470	33	423	34	419	31	413	33	394	32	631
15	新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317	28	318	25	269	23	210	24	222	20	172	18	212	20	262	20	202
16	富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15	4	12	6	15	7	38	9	42	7	16	6	32	6	24	7	13
17	石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7	2	7	6	12	2	9	4	23	4	34	4	57	7	38	4	16
18	福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47	4	46	3	43	7	48	7	64	5	47	6	74	6	52	4	47
19	山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171	40	208	39	196	34	225	33	191	32	150	28	110	30	152	31	148
20	長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289	25	380	22	303	29	364	30	366	24	247	25	250	23	183	20	219
21	岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40	15	101	16	42	18	45	19	76	14	24	8	58	3	27	15	21
22	静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25	10	34	12	27	11	119	10	128	8	114	11	171	10	59	11	44
23	愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127	20	118	26	132	22	114	27	162	22	85	20	57	21	81	30	89
24	三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17	9	33	10	48	11	37	6	51	8	23	6	47	5	28	4	14
25	滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588	93	600	87	547	83	514	81	501	74	494	45	438	76	529	78	472
26	京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104	12	60	11	54	11	80	9	59	9	67	13	49	15	56	13	48
27	大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201	28	213	24	188	28	202	31	168	26	158	15	71	29	138	31	136
28	兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147	34	136	33	136	30	136	33	136	31	171	31	133	34	125	39	157
29	奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44	13	31	10	22	11	24	12	35	10	24	7	15	11	33	9	23
30	和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22	4	19	5	14	3	34	3	43	4	15	5	41	4	29	2	7
31	鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5	3	21	2	3	2	6	3	32	2	31	2	17	2	32	1	1
32	島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28	4	81	3	31	4	31	4	89	3	35	3	41	1	21	1	20
33	岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196	12	275	10	249	14	292	12	307	12	323	12	320	9	326	11	306
34	広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47	7	79	9	62	10	83	8	51	9	62	9	53	9	65	10	38
35	山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21	3	18	4	17	8	23	8	21	8	47	5	38	8	26	5	9
36	徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158	30	140	23	85	22	103	17	80	15	70	14	61	13	74	12	56
37	香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12	3	12	2	10	3	10	3	35	3	37	3	19	3	19	1	3
38	愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175	6	155	5	145	7	132	8	124	9	138	7	107	5	111	6	85
39	高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45	16	53	14	84	12	51	11	69	11	49	14	71	15	73	7	37
40	福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82	24	84	22	76	19	70	22	92	25	77	26	145	29	108	30	104
41	佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36	5	19	5	20	8	27	5	24	5	39	4	44	5	35	3	17
42	長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73	7	34	4	12	6	187	4	228	4	329	4	44	4	28	2	3
43	熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19	5	39	5	35	5	18	6	77	4	15	3	38	4	39	8	42
44	大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36	4	40	2	11	2	11	4	58	2	11	4	83	3	72	4	37
45	宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49	4	62	3	47	4	55	5	44	5	43	5	71	3	81	2	48	2	56	2	46
46	鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14	4	8	4	13	2	11	3	12	3	5	3	31	3	152	7	74	4	22	4	81
47	沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36	10	63	6	34	8	43	10	47	8	42	9	51	11	194	7	70	8	103	6	45
	合計	547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660	959	5,581	882	5,397	836	5,544	818	5,842	785	5,270	816	6,124	796	6,920	745	6,241	650	5,924	713	5,507	726	5,183
	実団体数	531		1,000		944		917		997		1,011		913		909		926		865		792		771		750		758		730		697		586		655		660	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。　実団体数の数値が真値。

※2020年、2021年は新型コロナウイルス感染予防対策として、実施期間を延長しています。

●参加者記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084	6,389	6,040	4,834	9,561	7,061	6,944	6,797	6,565	4,041	5,238	5,156
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721	1,719	1,545	1,186	2,026	1,927	1,690	1,725	1,868	601	937	1,070
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684	704	851	707	1,133	771	667	690	487	329	274	442
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602	3,503	3,568	2,838	6,305	4,245	4,498	4,295	4,165	3,152	3,919	3,502

参加者記入票の人数は参加者からの記入されているとおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

参加者累計　122,341名

●一斉調査日実施状況

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
団体数	360	600	587	547	508	569	510	499	518	468	334	428	345	411	388	367	265	296	339
地点数	1,875	3,288	3,044	3,158	3,483	3,072	2,755	2,755	2,598	2,648	1,664	2,749	1,951	2,418	2,615	2,448	1,347	1,578	2035

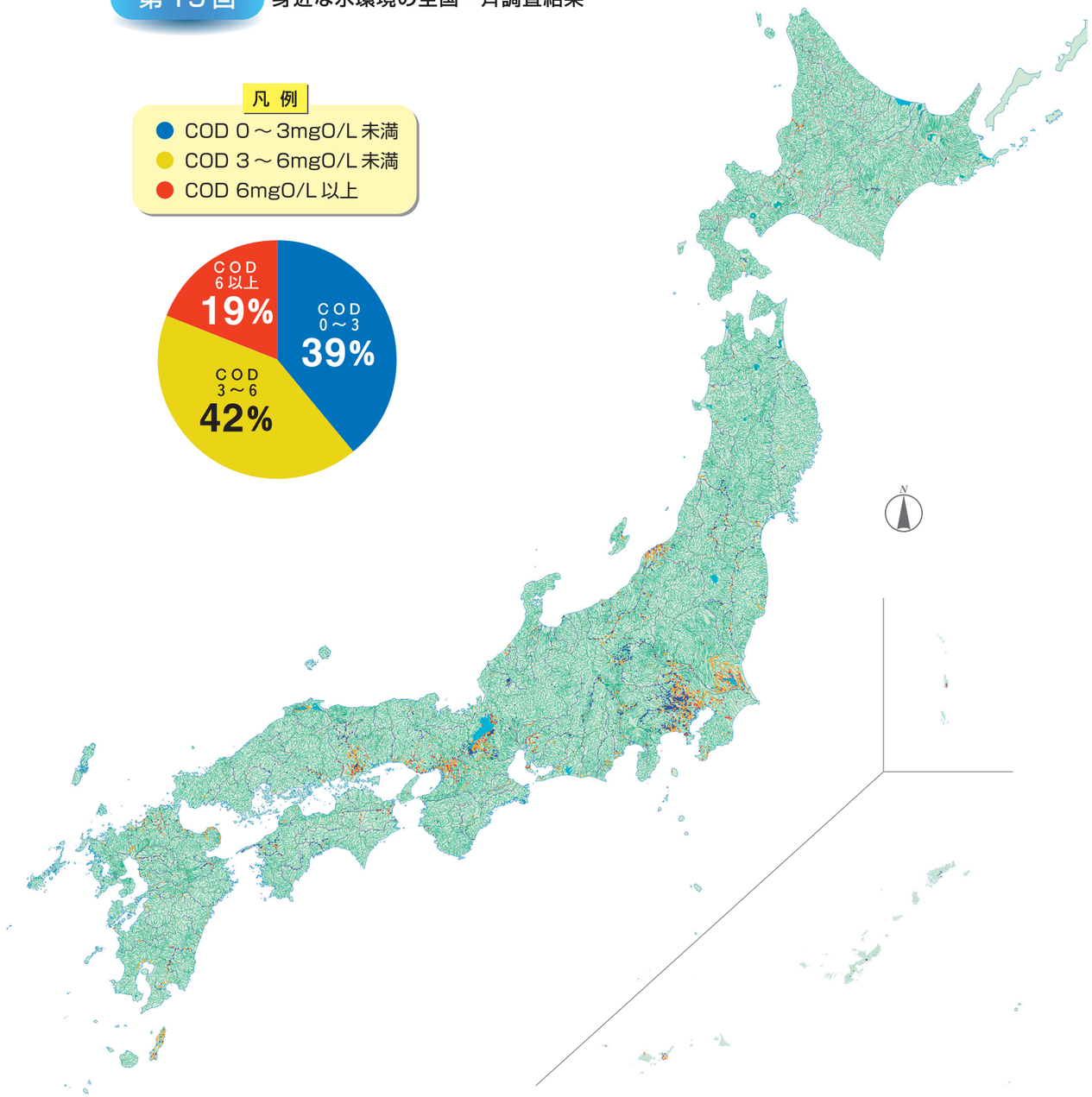
●海外データ

国名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
中国	8	5	63	ー	3	ー	2	1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
韓国	4	1					3	2	ー	ー	ー	ー	ー	ー	1	6	ー	ー	10	39	ー	ー	ー
チェコ共和国				1					ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
イギリス									ー	ー	ー	2	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
インドネシア																		2	ー	ー	ー	ー	ー

2022全国水環境マップ

第19回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡 例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上



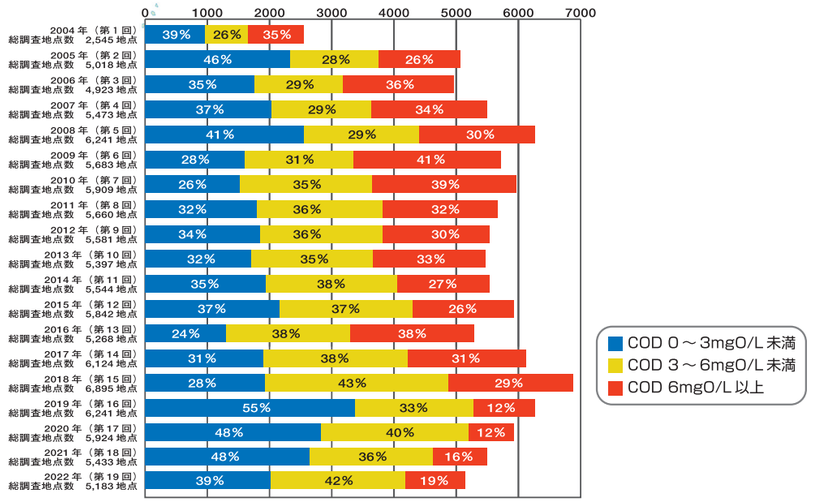
2004全国水環境マップ

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡 例
- COD 0～3mgO/L未満
- COD 3～6mgO/L未満
- COD 6mgO/L以上

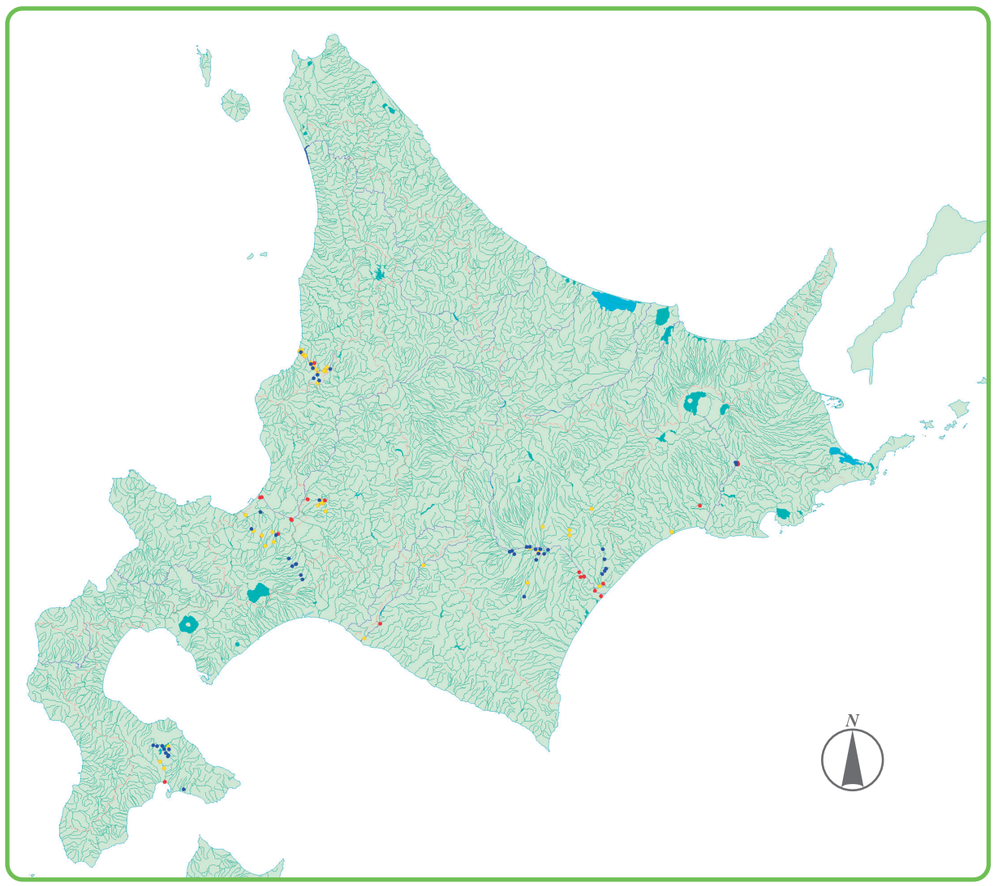


調査地点数と結果の推移



Ⅳ 各ブロックでの調査結果

北海道地方



参加者からのコメント

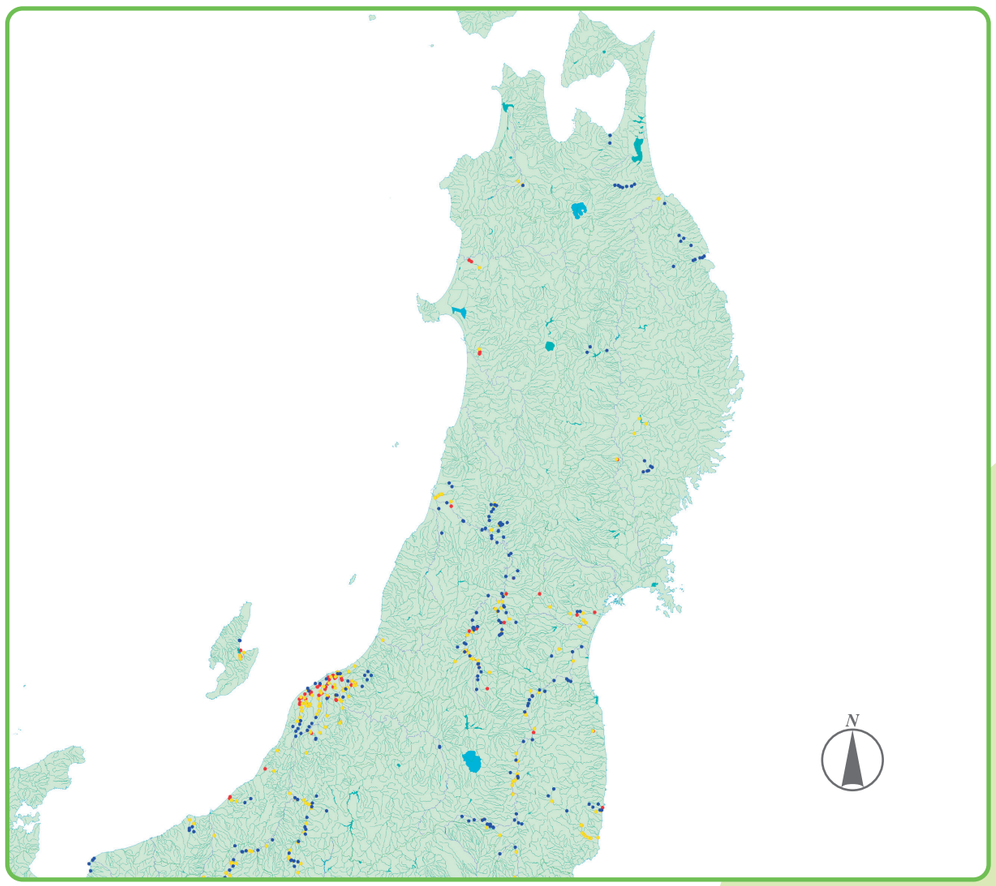
- 河岸が水辺にアプローチしやすく整備されており、アクティビティをしている人もいて快適。ごみもない。川も穏やか。水深があるところには濁りもあるが、不快なにおいもない。
- 水量は少なく、流れは緩やかである。濁りはないが水底に藻が堆積している。ごみは無かった。コンクリート護岸に囲まれており、川の周辺は土が堆積していて草本類が繁茂している。
- ここ数年 鮭の遡上は変化なし。





東北地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

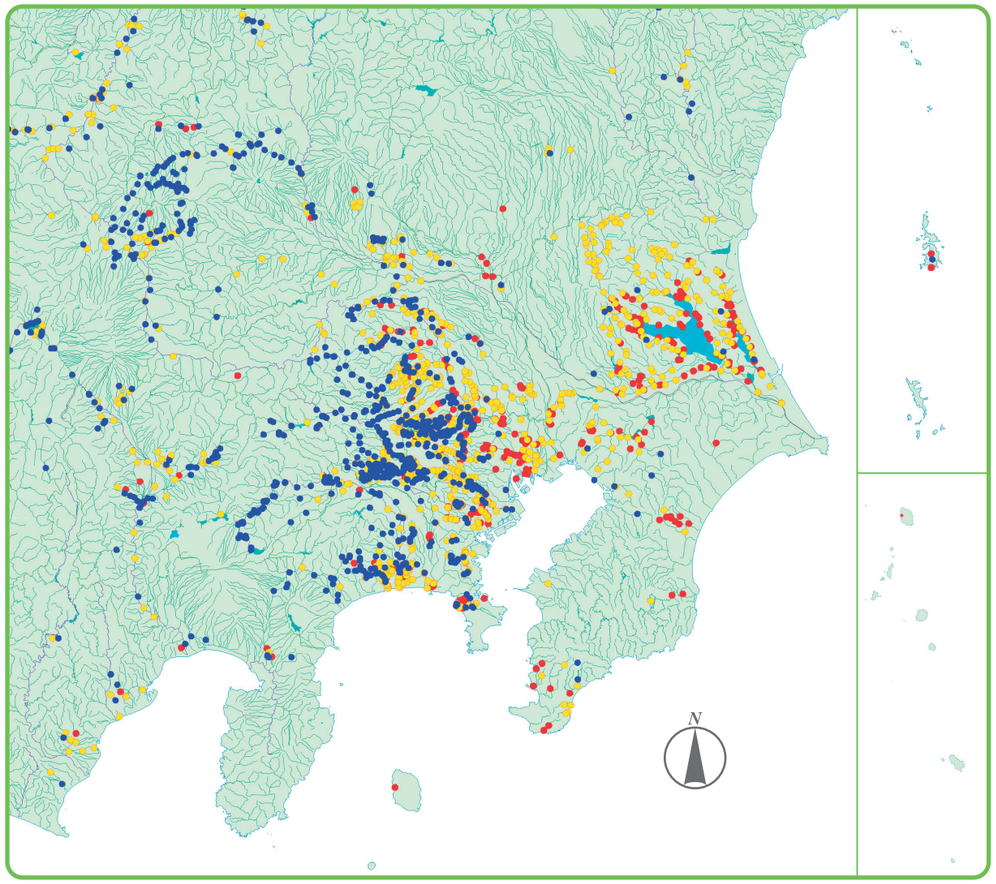
- 草丈が高い。水量が少なく、水流が緩やか。水の濁りは無く、水にくささはない。水鳥カモが散見。川にプラごみが散見。河川敷にプラごみ、一般ごみが散見。
- 20年近くやっていて水が少なかった。初めてです。
- 前年に河床護岸整備が行われた。川岸の植物が無くなり、キベリマメゲンゴロウなど前年見られていたものがいなくなっていた。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

関東地方



参加者からのコメント

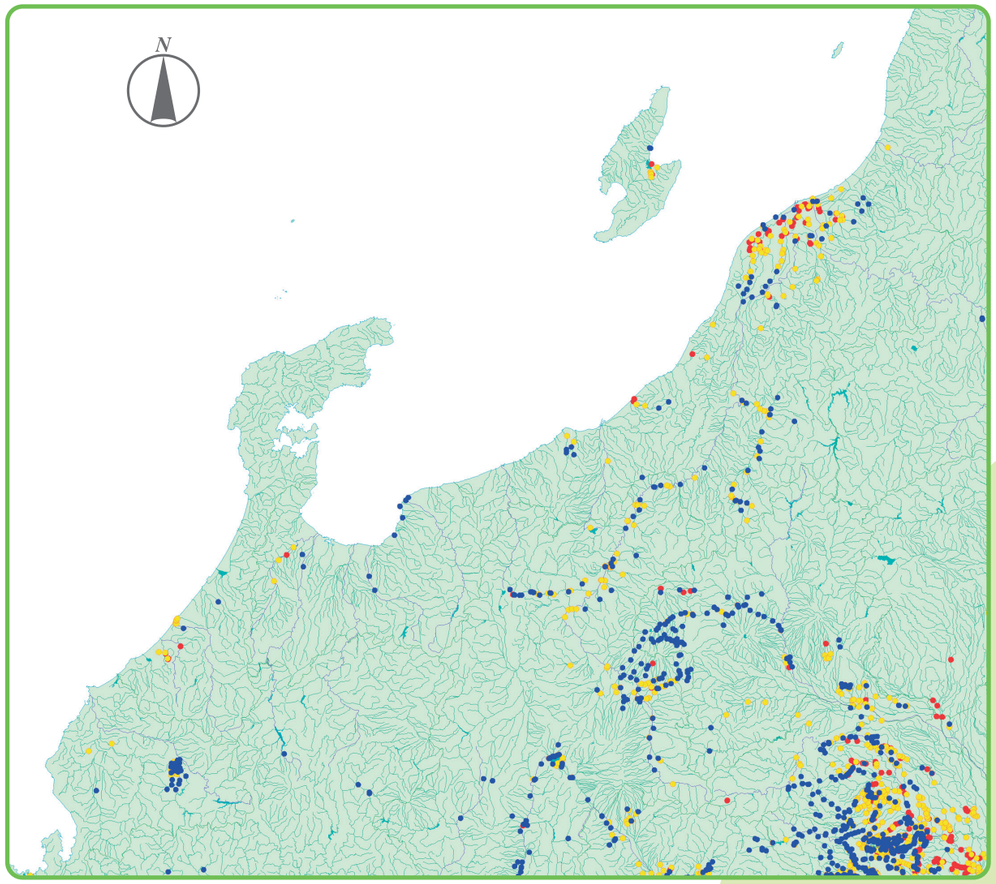
- 三日前まで水は無かった。連続の夕立出水量が豊富になったか。驚いた。橋の上流側で採水、水はきれい。下流側左岸に排水溝があり矢板が沈んでいたり、複雑な様子を見せる川底。洗剤の泡立ちが見られる。生き物は見られず。
- 水はきれい、親子で水槽や網を持って遊びに来ている。
- 水質や川底の様子に変化は感じられなかった。散乱ごみは水辺や川の中であまり確認されなかった。植生に隠れて目立っていない可能性がある。一方で高水敷の方はまとまって捨てられたごみがあった。
- 周りの田んぼの田植えが終わり、例年のような濁りはない。水路用の関が綴じられた期間は水量が多い。上流に畜産農家があり、以前は測定値が8以上だった。改良がされた結果の測定値だとよいが…。





北陸地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

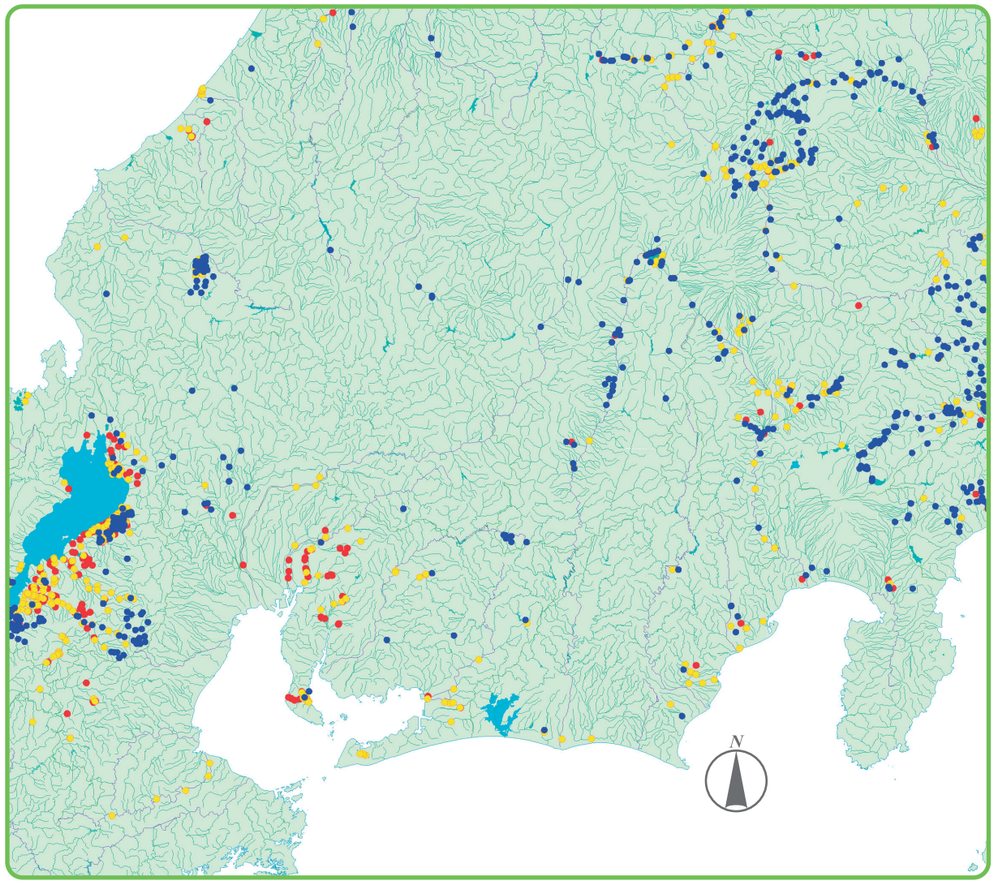
- 3年ぶりに調査地点に来たが、船着き場が無くなり採水が難しかった。
- 昨年外来種睡蓮を大量に抜いたが、今年もまたも大量繁殖していた。
- 田からの排水多い。泡目立つ。川底に泥が多い。
- 昨年度で全国に最後に残っていた輸入木材筏の曳航が終了した。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中部地方



参加者からのコメント

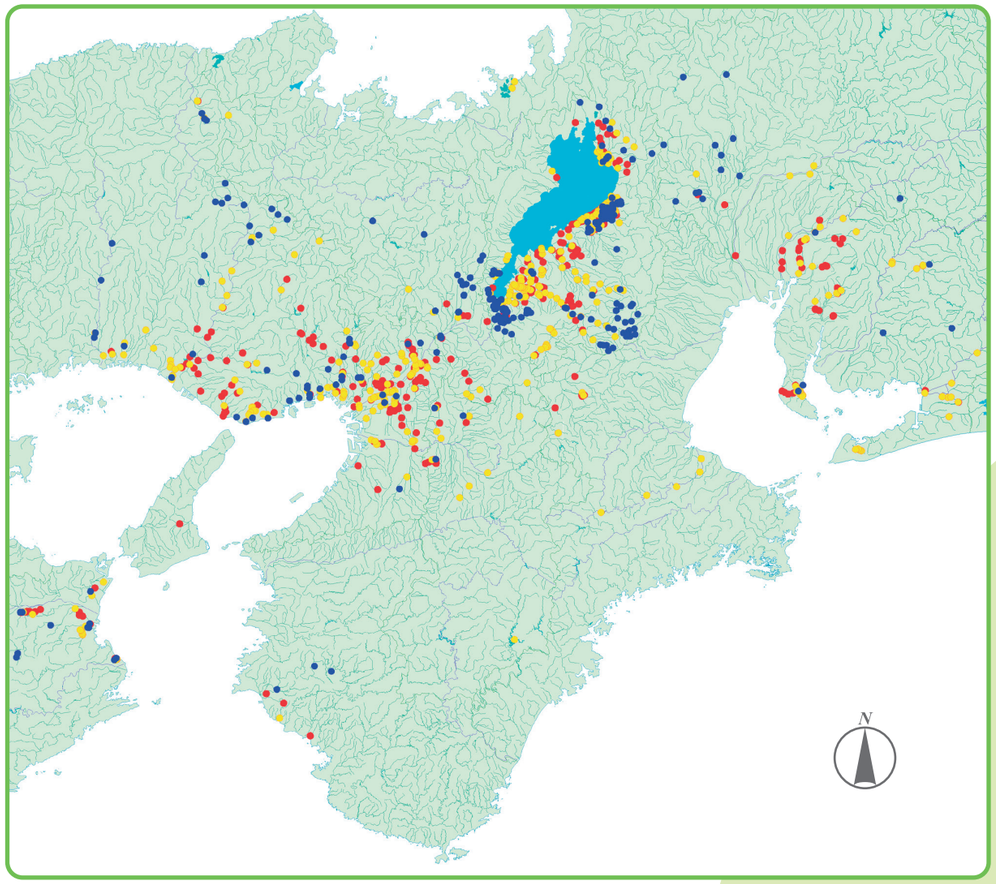
- 秋口は水が落ち着いていて、ワカサギの姿を見るが、今回は波高3㍍と風もあり濁っている。コイらしき魚を浅瀬で見る。
- 川岸が石をかごに入れたもの。コンクリートではないので今後ホタルを期待。
- 海水の影響を受ける地点であるが、満潮が午前8時12分なのでだいぶ潮は引いてきており、海水の影響は少ないと思われる。水は少し濁りがある状態であった。





近畿地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

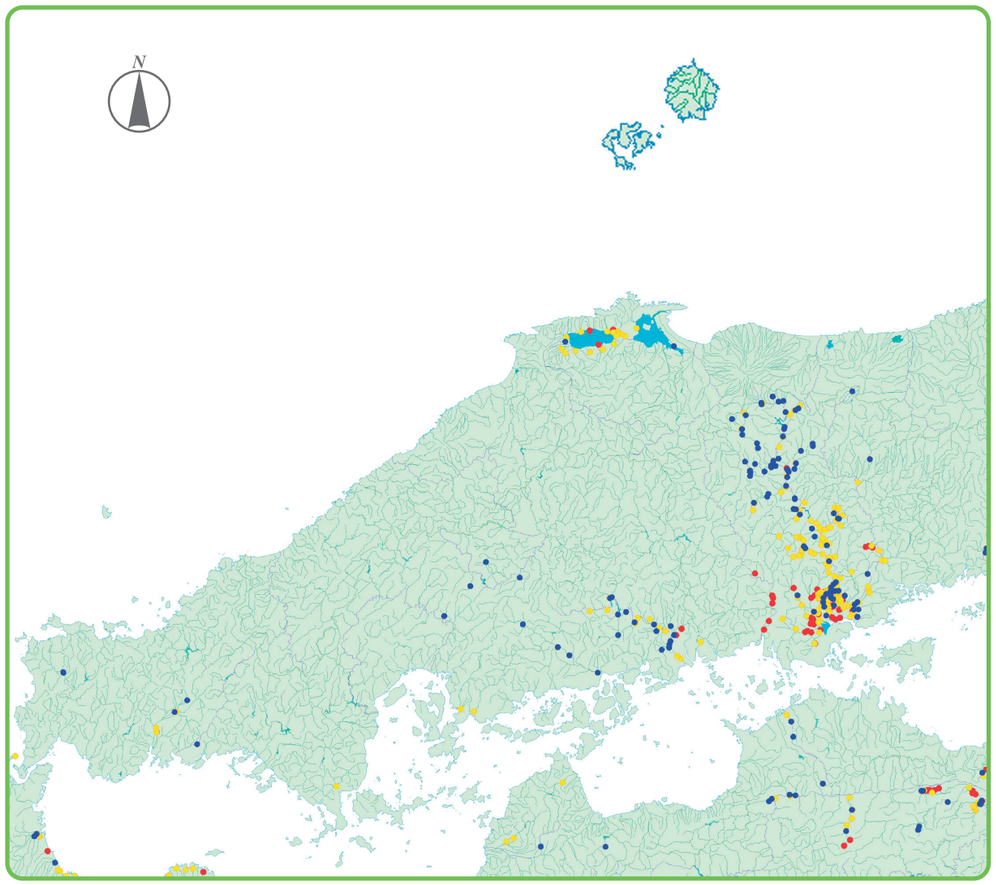
- 右岸の河川敷は整備され、日常的に消防署・消防団の訓練等で使用されている。採水箇所は、可動堰のすぐ下流で推進も浅く、休日には親子連れで水遊びや、バーベキューを楽しむなどされている。残念ながら、多くはないが時々その名残が残っている。
- コンクリートと石垣の併用の護岸。水は濁るが石垣にスジエビが多数いる。魚の水音が時々する。流れは比較的早い。上流にやな場がある。
- 大きな道ができ、ごみが増えたように感じる。きれいでなくなってきたようにも感じる。蛍がいなくなった。近年も数匹飛んでいたが年々減って見られなくなった。





Ⅳ 各ブロックでの調査結果

中国地方



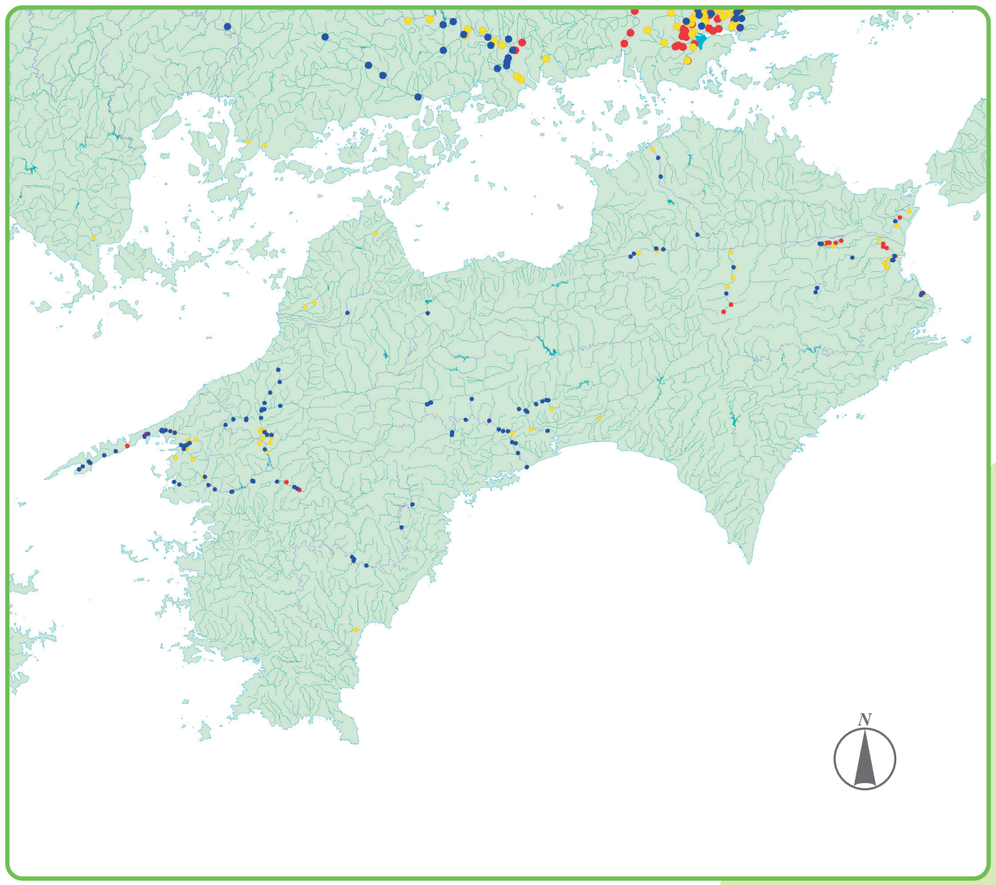
参加者からのコメント

- 安全上、干潮近く水量少ない時間で調査。途中雨が降り出した。コロナも緩和状況、ウオーキングの2人が居た。ウオーキング道にはごみはなかった。
- 上流に行くほどとてもきれいな環境。
- 近くに多くの大型商業施設がある割にきれいな川だった。
- 引き潮だったので水がかなり減っていて、低いところに水が溜まりつつ少しずつ水が満ち始めている状態。ごみが少しあった。砂から水がわいている。潮の臭いがする。





四国地方



参加者からのコメント

- 広い河原は、市民の憩いの場となっている。
- 湧水源のため、清水が少量ではあるが継続して噴き上げてきている。気温と水温の年変化が逆転している状況は現在も続いている。
- 川岸の一ケ所にだけ浮遊物が集まった箇所あり。枯れた小枝っぽい集まり。

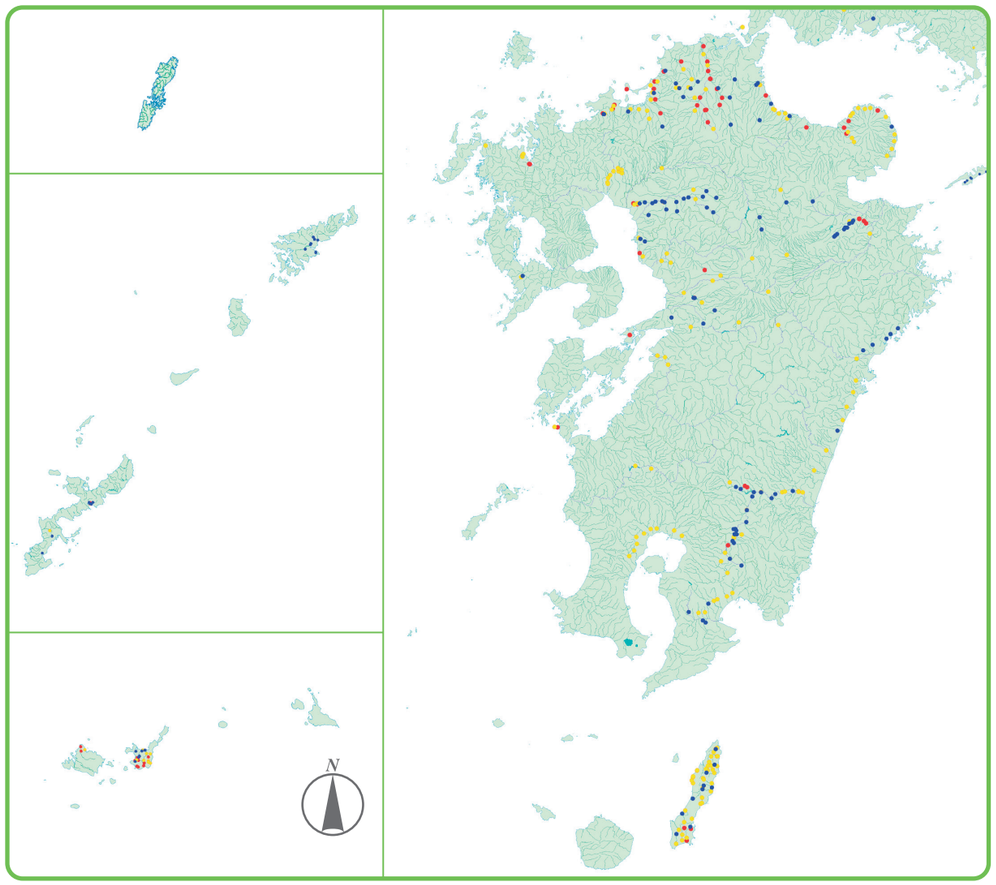




Ⅳ 各ブロックでの調査結果

九州・沖縄地方

凡 例
- COD 0 ～ 3mgO/L 未満
- COD 3 ～ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

- 濁り水が目立つ。田植えの時期でもあり。水辺付近共ごみ多し。
- ボランティアによる清掃の成果であろうか、調査ポイントにおける外来植物繁茂は減少傾向。川岸の堆積物による滞留は特定の場所で継続。
- 海が目の前の本当の河口なので昨年話題になった軽石が未だ岸辺に若干残っていた。近辺の海ではトン袋に軽石を回収していた。満潮のためか水量は多い。水は濁っていないが、人によってはくさい臭いがするという人もいた。





Ⅴ 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

最上川をシンボルにした「美しい元気な山形づくり」

美しい山形・最上川フォーラム

事務局：〒990-0041 山形市緑町 1-9-30　緑町会館
TEL　023-666-3737　　FAX　023-666-3738
e-mail　sh-mogamigawa@festa.ocn.ne.jp
http://www.mogamigawa.gr.jp/

山形県には、一つの県のみを流れる川としては日本一の大河である全長 229 ｋｍの最上川があります。その流域人口は県内人口の８割で、古くから農業用水や漁業の営みはもちろん、交通路としても重要な役割を担ってきました。現在でも農業・工業・生活用水、水力発電など県民の生活に密着しており、母なる川として親しまれてきています。

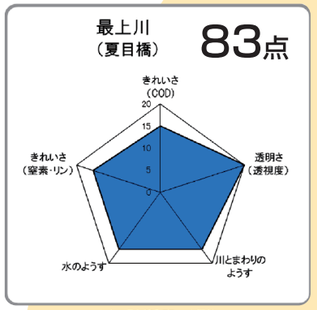
私たちの団体は「美しく元気な山形」を次世代に引き継ぐため、県民をはじめ NPO などの活動団体、事業者、大学、行政機関などそれぞれが連携・協力して活動していくシンボルとして「最上川」を掲げ、平成 13 年に発足し、水環境の保全、文化の継承、地域活性化の観点から 20 年余り活動を続けてきています。

水環境の保全の一環として、発足の翌 14 年から県民の皆さんから参加していただき、県内一斉の水環境調査「身近な川や水辺の健康診断」や河川等の散乱ゴミ回収・調査「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」を実施してきています。「身近な川や水辺の健康診断」は COD をはじめ、ｐＨ・アンモニア性窒素・亜硝酸性窒素・硝酸性窒素・リン酸性リンの６項目のパックテスト、透視度、ゴミの状況や魚・鳥のすみかからみた川の様子などの目視を含めた水辺環境の調査です。結果は総合的に分かりやすくするために評点化し、独自の清流指標「水辺診断書」による評価を行って河川流域、地域でまとめています。小学生からご年配まで幅広い年齢の方々が参加して、身近な川や水場の水質を調べて水の話をして、また、話しを聞いて知識を深め、環境のことを知って、自分の周りから始めて山形県全体の環境が良くなるようにしていく仕組みをつくるものです。この中で「身近な水環境の全国一斉調査」へは開始年から参加させていただき、ＣＯＤについてデータの一部を共有しています。もう一つの取り組みの「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」はゴミを拾うだけでなく、ゴミの種類や数量を調査することにより、みんながゴミに目を向け、気づくことによって、ゴミのポイ捨てをしないさせない、また、ゴミを出さない、なるべく少なくする等の行動につなげていくものです。さらには海のゴミを減らすために、川のゴミ、私たちの身の周りから出るゴミを減らすことが必要です。そのため、ゴミ拾いにスポーツの要素を取り入れ、楽しみながら積極的にゴミ拾いをする「スポ GOMI 大会」や様々なイベントの場を通して普及啓発活動も展開しています。

これからも「山から川から海」へとつながっている県内の水環境を守り育て、「美しい元気な山形」を後世につなげるよう取り組みを継続していきます。



透視度調査



水辺診断書（例）



パックテスト



クリーンアップ・キャンペーン
回収したゴミの種類・数をカウント



スポ GOMI 大会

Ⅴ 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

都市河川や近郊の水辺をもっと身近に

ナゴヤSUP推進協議会

https://www.facebook.com/nagoyaSUP

私たちナゴヤSUP推進協議会は、2017年3月に設立した任意団体です。日頃は、都心や近郊の水辺に出向き、空気で膨らませたボードの上に乗って、海、川、湖、池などで様々な活動をしています。

目的は、水辺のアクティビティとして注目されているSUPを通して仲間を増やし、水域利用の可能性を追求するとともに、公共空間としての水辺の価値と関心を高めることです。

活動としては、たとえば、名古屋の都心を流れる堀川では、賑わいイベントへの協力出演や毎月の清掃活動をしています。また郊外の庄内川や天白川ではツアーや清掃を、もう少し遠くで水質の良い木曽川、長良川、矢作川などでは閘門や自然を満喫するツアー、土木遺構周りの清掃、ＳＵＰボードを使った遊びなどをしています。運河としての機能をほぼ失った中川運河では、既存の団体の協力のもと、関係機関の許可を得てSUP大行進なども行いました。

また、行政や地元団体の要請を受けて、アートイベントや環境学習、福祉イベントなどへの協力を行うこともあります。

こうした活動のほか、比較的穏やかな水辺を利用して初心者体験会も開催しています。もちろん、開催前日から観天望気は必須で、当日も準備運動と注意事項を念入りに行っています。

水質調査は設立初年度から実施していて、これまでに上記の他に荒子川の調査を行っています。ＳＵＰで行う水質調査の利点は、岸や橋から近寄れない地点の調査が可能なこと、河川中央の採水も可能なことです。

私たちが都心の川面に立っていると、橋の上から声をかけられることが増えました。かつては、奇異な目で見られることもありましたが、今では気持ちよさそうですね！と言われることもあります。

こうして水辺に目を向けていただくことで関心が高まると、次第にポイ捨てが減り、水質の向上にもつながっていくのではないかと思っています。

（ナゴヤＳＵＰ推進協議会 会長　藤井　修）









Ⅵ 継続調査参加団体

皆勤賞

19年参加（結果提出）団体（合計71団体）個人参加1名を含む

北海道	NPO法人十勝多自然ネット	茨城県	行方市	埼玉県	NPO法人　荒川流域ネットワーク	山梨県	大泉・水と緑を守る会
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	茨城県	美浦村	東京都	浅川流域市民フォーラム	山梨県	風間・瀧澤グループ
茨城県	一般社団法人 霞ヶ浦市民協会	茨城県	阿見町	東京都	八王子ランドマーク研究会	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	国土交通省　霞ヶ浦河川事務所	茨城県	河内町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	静岡県	三島ゆうすい会
茨城県	石岡市	茨城県	桜川市	東京都	八王子市東南部環境市民会議	愛知県	尾張西部生態系ネットワーク　T・海部野川
茨城県	龍ヶ崎市	茨城県	利根町	東京都	程久保川を考える会	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊穣の郷
茨城県	牛久市	茨城県	土浦市	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	京都府	相楽環境委員会
茨城県	つくば市	埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	八王子西南地区環境市民会議	大阪府	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	鹿嶋市	東京都	東久留米ホタルを呼びもどす会	東京都	(公社)東京都山岳連盟自然保護委員会	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	潮来市	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	東京NPO-21研究所	山口県	椹野川観察会
茨城県	稲敷市	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	羽村・水と緑の会	徳島県	地蔵橋駅前町内会環境委員会
茨城県	筑西市	埼玉県	NPO法人　エコシティ志木	東京都	東京環境工科専門学校　増穂班	徳島県	徳島市市民環境部環境保全課
茨城県	かすみがうら市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	徳島県	ガールスカウト徳島第9団
茨城県	茨城町	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	林・宮島ファミリーズ	徳島県	ガールスカウト徳島第7団
茨城県	小美玉市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	国分寺みずっこクラブ&国分寺地下水の会	愛媛県	NPO法人かわうそ復活プロジェクト
茨城県	笠間市	東京都	自由学園	神奈川県	東京都市大学　小堀・成研究室	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
茨城県	鉾田市	東京都	明法中学高等学校　科学部	新潟県	NPO法人新潟水辺の会	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会
茨城県	神栖市	埼玉県	東川を愛する会	山梨県	Yamanashiみずネット		

10年以上の参加団体（今年度参加をした上記以外の団体）289団体（内個人12名）

北海道	留萌川を楽しむ会	埼玉県	育てる会	神奈川県	辻堂ゴミゼロクラブ	愛知県	みなと塾	兵庫県	北はりま田園空間博物館
北海道	こどもエコクラブくしろ　JEC	埼玉県	市ノ川エコクラブ	神奈川県	ファミリー原さんち	愛知県	刈谷市民会議	兵庫県	六方めだか公園
北海道	幾春別川をよくする市民の会	埼玉県	荒川の自然を守る会	神奈川県	笹下川再生プロジェクト	滋賀県	NPO法人 蒲生野考現倶楽部	兵庫県	武庫川づくりと流域連携を進める会
北海道	利根別川をきれいにする市民の会	埼玉県	鶴ヶ島の自然を守る会	新潟県	NPO法人ねっとわーく福島潟	滋賀県	NPO法人 雄琴川リバプル隊	兵庫県	ユニトピアさきやま
北海道	十勝川のシシャモを守る会	埼玉県	熊谷の環境を考える連絡協議会	新潟県	新潟市民大学講座	滋賀県	野洲川に親しむ会	兵庫県	垂水すっきゃねんバクラブ
北海道	北海道函館水産高等学校	埼玉県	生活クラブ生協寄居支部	新潟県	特定非営利活動法人 加治川ネット21	滋賀県	湖南流域環境保全協議会	兵庫県	白陵中学校・高等学校　生物部
北海道	パナソニック建設エンジニアリング労働組合	埼玉県	東洋大学	新潟県	潟上水辺の会	滋賀県	草津塾	兵庫県	PGU兵庫地区懇
北海道	株式会社 積水化成品北海道 SKG	埼玉県	与野・水と緑の会	新潟県	椋川を守る会	滋賀県	栗東市役所	兵庫県	株式会社　積水化成品関西　神戸工場 SKG
北海道	札内川懇談会	埼玉県	昭和環境保全の会	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	滋賀県	NPO法人環境を考える会	奈良県	特定非営利活動法人「関西環境とインフラを考える会」
青森県	HEP21エコクラブ　JEC	埼玉県	NPO法人さや土環境市民ネットワーク	新潟県	越後新川まちおこしの会	滋賀県	滋賀県南部環境事務所	奈良県	株式会社 積水化成品天理 SKG
青森県	NPO法人水辺の楽校まべち	埼玉県	白岡市観光協会水辺の里親会	新潟県	西川を創る会	滋賀県	NPO法人琵琶湖ネット草津	奈良県	株式会社積水化成品関西　名張小倉工場SKG
青森県	奥入瀬川クリーン対策協議会	埼玉県	市野川水系in滑川町	新潟県	自然環境見守り隊	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会	和歌山県	日高川町水道協会
岩手県	零石町 児童館　わーくくんぱー	埼玉県	ふきあげ環境フォーラム	新潟県	エコラブ　サンダーバード	滋賀県	農栄の里　甲賀流域環境保全協議会	鳥取県	糸子水鳥公園友の会ふレンジャークラブ
岩手県	大深沢水園委員会	埼玉県	小川町児童館　JEC	新潟県	NPO法人にいがた里山研究会	滋賀県	野洲川を愛する会	岡山県	児島湖流域エコウェブ
宮城県	仙台リバーズネット梅田川	埼玉県	株式会社積水化成品埼玉 SKG	富山県	小矢部川に学ぶ会	滋賀県	信楽の川自然愛護の会	岡山県	さとしうエコクラブ　JEC
宮城県	（公財）みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）水部会	千葉県	カヌークラブかわせみ	富山県	みずほく地域学習員	滋賀県	甲南高校　バイオとかがく系列 with 仙川と親しむ会	岡山県	フジみどりの少年隊 JEC
秋田県	あきたチアーズクラブ/緑の少年団	千葉県	自然観察やまぼうし　JEC	石川県	「美川自然人クラブ」	滋賀県	滋賀県企業庁水口浄水場	広島県	芦田川環境マネジメントセンター
秋田県	能代市こども環境探偵団	千葉県	ぬぐ森エコクラブ　JEC	山梨県	若月ファミリー	滋賀県	東近江環境保全ネットワーク	広島県	株式会社　積水化成品西部 三原工場　SKG
山形県	NPO法人パートナーシップオフィス	千葉県	二重川に親しむ会	山梨県	まちづくり時習塾	滋賀県	八幡堀を守る会	山口県	殿居公民館
福島県	夢はたる・こおり	千葉県	NPO法人南房総エコネット	山梨県	富士川ファンクラブ・市川大門地区	滋賀県	東近江水環境自治協議会	徳島県	水土里ネット　芳崎
福島県	西郷くらしの会	千葉県	湘南積水工業株式会社 SKG	山梨県	富士川ファンクラブ・南部地区	滋賀県	環境フォーラム湖東	徳島県	江川番仕橋かもクラブ
福島県	白河くらしの会	東京都	多摩市水辺の楽校	山梨県	富士川ファンクラブ・六郷地区	滋賀県	彦根市環境保全指導員連絡会議	徳島県	株式会社積水化成品西部鳴門工場　SKG
福島県	夏井川流域の会	東京都	日野市環境共生部　緑と清流課	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	滋賀県	人と自然を守る会	香川県	土器川生物研究会
茨城県	みどりの会	東京都	浅川周徳水辺の楽校	山梨県	みずねっと・おもがわ	滋賀県	大津市河川愛護団体連合	愛媛県	PHC労働組合　本部
茨城県	茨城県山岳連盟自然保護委員会	東京都	八王子市西部地区環境市民会議	山梨県	松田(恒)グループ	滋賀県	膳所南部の川を美しくする会	高知県	香美市婦人会
茨城県	株式会社積水化成品関東 SKG	東京都	八王子東部地区環境市民会議	山梨県	みずすまし	滋賀県	天神川を美しくする会	高知県	公益財団法人四万十川財団
茨城県	茨城県霞ヶ浦環境科学センター　パートナー有志	東京都	NPO法人環境活動センター八王子	山梨県	富士川ファンクラブ・塩穂地区	滋賀県	三田川をきれいにする会	高知県	横倉山自然の森博物館友の会「フォレストクラブ」
茨城県	株式会社 積水化成品ウレタン SKG	東京都	せたがや野川の会	山梨県	小松ファミリー	滋賀県	多羅川を愛する会	高知県	田の口の環境を考える会
群馬県	城沼を考える市民会議	東京都	玉川上水ネット	山梨県	八ヶ岳野鳥クラブ	滋賀県	盛越川上流を美しくする会	福岡県	水の会
群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	東京都	公益社団法人　全国上下水道コンサルタント協会	山梨県	計画課チーム	滋賀県	相模川を美しくする会	福岡県	NPO法人遠賀川流域住民の会
東京都	北川かっぱの会	東京都	福生水辺の楽校運営協議会	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	長浜市びわ水環境	福岡県	遠賀川源流の森づくり推進会議
埼玉県	白子川流域の水環境をよくする会	東京都	神田川ネットワーク	山梨県	富士川ファンクラブ・三珠地区	滋賀県	長浜市水生生物少年少女調査隊	福岡県	穂波川を愛する会
東京都	東久留米ほとけどじょうを守る会	東京都	滝久の原愛好会	山梨県	山田ファミリー	滋賀県	長浜市立北郷里小学校	福岡県	田川ふるさと川づくり交流会
埼玉県	所沢北高校化学部	東京都	北区水辺の会	山梨県	イデッチ	滋賀県	長浜市立長浜小学校	福岡県	ひこさんがわ夢の会
埼玉県	不老川流域川づくり市民の会	東京都	江戸川・生活者ネットワーク	山梨県	国土交通省甲府河川国道事務所富士川下流出張所	滋賀県	長浜北小学校	福岡県	遠賀川いかだフェスタ実行委員会
埼玉県	かわごえ環境ネット 新河岸川水系グループ	埼玉県	川口市立西中学校科学技術部	山梨県	大月小松ファミリー	滋賀県	長浜市長浜南小学校	福岡県	響みどりの会
埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	江東自転車エコライフの会	山梨県	生活クラブ生活協同組合	滋賀県	長浜市びわ北小学校	福岡県	北九州市立市丸小学校
東京都	NPO法人　空堀川に清流を取り戻す会	東京都	狛江市環境を考える会	長野県	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	滋賀県	長浜市びわ南小学校	福岡県	龍王・山・里・川の会
埼玉県	砂川流域ネットワーク	東京都	美登会	長野県	千曲川水生昆虫研究会	滋賀県	長浜市立田根小学校	福岡県	矢部川をつなぐ会
埼玉県	柳瀬川をきれいにする会	東京都	美しい多摩川フォーラム	長野県	飯水自然調査研究委員会	滋賀県	長浜市立速水小学校	福岡県	パナソニックアプライアンス労働組合 福岡・佐賀地区支部/PGU九州地区連
東京都	空堀川を考える会	東京都	法政大学大学地理学研究室	長野県	軽井沢水楽会	滋賀県	長浜市立伊香具小学校	福岡県	PCNS労組・九州支部
東京都	北多摩自然環境連絡会	東京都	バックテスト共の会	長野県	週川　水の会	滋賀県	舎呂小中学校	佐賀県	株式会社　ミノタ
埼玉県	黒目川に親しむ会	東京都	日野市民環境大学OB会・田中（徹）	長野県	エコラボ クラブ	滋賀県	長浜市立七郷小学校	佐賀県	NPO法人技術交流フォーラム
埼玉県	生活クラブ生協朝霞支部	東京都	日野市民環境大学OB会・野尻（豊）	長野県	長野市水環境研究サークル	滋賀県	長浜市立塩津小学校	佐賀県	やましろ塾
埼玉県	所沢市立東中学校おやじの会	東京都	日野市民環境大学OB会・上野	長野県	グリーンヒル友の会	滋賀県	長浜市立朝日小学校	長崎県	リルーグリーンクラブ2
埼玉県	あさか環境市民会議	東京都	日本山岳会・東京多摩支部・自然保護委員会	長野県	天竜川総合学習館かちんべ	京都府	木津川市こどもエコクラブ JEC	熊本県	次世代のためにがんばろ会
埼玉県	NPO法人　和光・緑と湧き水の会	神奈川県	相川・相模川流域協議会	岐阜県	NPO法人飛騨小笠200滝	大阪府	アクアフレンズ	熊本県	NPO法人 エコパートナーくまもと
東京都	川クラブ	神奈川県	帝京科学大学	岐阜県	NPO法人いびがかミズみずエコステーション	大阪府	ガールスカウト大阪府第21団	大分県	「なな七交流会」
埼玉県	鴻巣の環境を考える会	神奈川県	CCたかつ	静岡県	磐田市電球テニススポーツ少年団(静岡県)	大阪府	おおさかバルコーブ　大阪まちづくり連絡会	宮崎県	NPO法人大淀川流域ネットワーク
東京都	霞川くらしの楽校	神奈川県	国土交通省　関東地方整備局　京浜河川事務所	愛知県	NPO法人　環境研究所豊明	大阪府	CFK お魚の会	鹿児島県	おおすみ自然環境フォーラム
埼玉県	川の博物館ボランティアの会	神奈川県	まいおかホと緑の会	愛知県	天白・川辺の楽校	大阪府	NPO法人大阪府環境協会	沖縄県	西表ヤマネコクラブ　JEC
埼玉県	もりんど	神奈川県	神奈川県山岳連盟自然保護委員会	愛知県	たかくら子どもエコクラブ	大阪府	清水1東町 会	沖縄県	石垣島エコフーリズム協会
埼玉県	さいたま市リバーキーパーズ	神奈川県	NPO環境ファミリー葉山	愛知県	NPO法人朝倉川育ホフォーラム	大阪府	アイラブ城北川実行委員会	沖縄県	アンパルの自然を守る会
埼玉県	高麗川ふるさとの会	神奈川県	NPO法人　藤沢グリーンスタッフの会	愛知県	鮸城・福川と生活を考える会	大阪府	パナソニックエコリレージャパン（事務局）		
埼玉県	生活クラブ生協日高支部	神奈川県	大岡川流域まちかん衆	愛知県	河和学区河川環境対策委員会	兵庫県	日本武道玉谷道場スポーツ少年団　JEC		
埼玉県	かわごえ環境ネット	神奈川県	若葉台連合自治会　生活環境部	愛知県	豊川リバーウォーク委員会	兵庫県	丹波市立青垣いきものふれあいの里		

実行委員長を風間先生に交代しました！



小倉　紀雄

2021年12月4日に開催された全国水環境マップ実行委員会で、実行委員長を辞任し、風間ふたば先生に交代することが了承されました。

2004年から開始された「身近な水環境の全国一斉調査」は、2022年までのべの参加者は12万人を超え、全国で調査された水辺の数は延べ10万地点に達しました。

多くの皆さんが身近な水辺に関心を持ち、一斉調査の目的と意義を理解していただいたことを大変嬉しく思います。

これからも一斉調査を継続し、子どもたちへ素敵な水辺を引き継いで行くことを期待します。ご協力いただいた多くの皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

新委員長に就任しました！



風間　ふたば

小倉先生からバトンを受け取り、実行委員長に就任しました。この調査は、“身近な水環境を次世代に引き継ぐために、まず自分たちで身近な水環境を調べてみよう”と始められました。これに多くの方々が賛同し、調査結果をまとめて全国の水辺の様子がマップとして理解できるようになりました。そのマップを作るために、調査マニュアルが整備され、測定方法の練習会も各地で開催されて、いつでも新しい参加者を迎える用意もできています。

このマップ作りが始まって来年は20回目を迎えます。調査データも膨大なものですが、このような市民活動によるデータ蓄積は日本では例がないと思います。街の様子も変わる一方で、日々の暮らしの中でも地球温暖化を感じるようになりました。それらは身近な水質にも影響を及ぼしていることでしょう。そうであれば、小倉先生のおっしゃるようにこの調査は「100年調査」にしなければ！世代を超えて同じ調査に関わることで、引き継ぎたい水辺について大いに語れる委員会になれればと思います。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅶ 全国水環境マップ実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実行委員

氏　名	役　割	団　体　名	都道府県	ＴＥＬ	E-mail
風間ふたば	実行委員長	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
野村　直也	実行委員	NPO法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子　　博	実行委員	NPO法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
和田　哲男	実行委員	一般社団法人霞ケ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kcajimukyoku@dream.com
渡邉　　勇	実行委員	NPO法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
小倉　　明	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	99mamagari@googlegroups.com
小寺　浩二	実行委員	NPO法人地域環境科学研究会	東京都	090-7253-7380	Kodera6106@gmail.com
諏訪　祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	hamukurosachiko@gmail.com
今村　和志	実行委員	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
沼田　　清	実行委員	信州水環境マップ・ネットワーク	長野県	0267-32-8608	ecolabo@rondo.ocn.ne.jp
古川　道夫	実行委員	認定NPO法人びわこ豊穣の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyounosato@lake-biwa.net
井﨑　尚司	実行委員	NPO法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-2012-2386	isaka178@icloud.com
菱田　敏一	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
竹原　和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野　宜宏	実行委員	NPO法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-1172-6994	shono@niyodoriver.com
鈴木　祥広	実行委員	NPO法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野　朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1341-1847	ryukyuayuono@gmail.com

※委員は、2022年9月30日現在

小倉　紀雄	顧　問	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp

事務局

氏　名
菅谷　輝美
高橋　克彦
本間　君枝
佐山　公一

オブザーバー

小堀　洋美
咸　　泳植
信田　　智
佐藤　希世
寺石　杏映
西　　修
佐藤　篤
森　美穂子
吉野　英夫
田畑　和寛
岡内俊太郎
上田　　実
樋口　柚里

「パナソニック エコリレー ジャパン」は、

国内のパナソニックグループに集う会社、組合、退職者が「One Panasonic」として、地域社会と共に環境保全活動に積極的に参画し、持続可能な社会づくりに貢献しています。活動では、「森林」「緑地」「水」を中心とした生物多様性保全、里山保全につながる活動、自然教育活動などの地球環境保全活動全般を行い、従業員とその家族に温暖化防止やライフスタイルを見直す意識啓発に取り組んでいます。

特に「水を守る」活動としては、「身近な水環境の全国一斉調査」をはじめ、「河川・海岸清掃」や「ヨシ刈り」「外来種水生植物駆除」など、関係団体と連携し、積極的に取り組んでいます。

eco ideas Panasonic ECO RELAY for Sustainable Earth





パナソニック エコリレー ジャパン　事務局　Email : ecorelay-j@gg.jp.panasonic.com
URL ： https://holdings.panasonic/jp/corporate/sustainability/citizenship/environment/perj.html

Ⅷ 身近な水環境を調べよう！

第20回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2023年6月4日(日)を統一調査日として、第20回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

風間　ふたば　全国水環境マップ実行委員会　実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年６月５日の「環境の日（世界環境デー）」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ（URL　https://www.japan-mizumap.org/）や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ（https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html）で公表されています。

実　施　日	2023年６月４日（日）
測 定 項 目	気温、水温、ＣＯＤ、その他
測 定 方 法	調査マニュアル、調査キットに基づき測定（※1）
参加申込と締め切り	専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局（みずとみどり研究会）に、**2023年３月10日（金）**までにご送付下さい。 なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。 参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1　調査キットは、参加申込者に2023年５月頃に配布予定です。

全国一斉調査20回記念イベント企画中
詳しくは参加申込後の調査キット配布器材に同封します

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会　事務局
みずとみどり研究会気付（申込・問合せ）
〒185-0021　東京都国分寺市南町2-1-28　飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169　E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp



全国一斉調査　お申し込み先

FAX：042-327-3169　E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第20回　身近な水環境の全国一斉調査　参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ（https://www.japan-mizumap.org/）からもダウンロードできます。身近な水 検索

2023年３月10日（金）までに必ずE-mailまたはＦＡＸでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり　　☐ 初めて

■ 参加グループ名
以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名（個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません）

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者　（個人参加の場合はご記入の必要はありません）

■ 連絡先（グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など）住所、電話、FAX、E-mail（特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可）

住　所：〒　　-

電　話　　－　　－　　FAX　　－　　－

E-mail

■ 調査予定地点名　河川名など　例）○○県　○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか
河川以外の水路・水辺（農業用水路、ため池等）で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒にご提出ください。（専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。）

☐ はい　　☐ いいえ

■ 調査予定日　ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月4日に実施する　　☐ 6月4日に実施できない【その場合の予定　　月　　日】

■ 調査予定地点数　**水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。**

地　点（水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください）

■参加申し込みの確認はホームページ(https://www.japan-mizumap.org/)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。